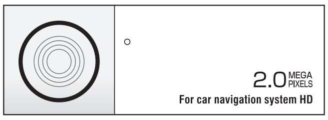
取扱説明書

ドライブレコーダー
AN-R014



ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に“安全上のご注意”（P.4～5）“ご使用の前に”（P.6）“使用上のご注意”（P.7～8）はご使用前に必ずご一読ください。

本製品につきましては弊社のホームページ上でも最新情報、資料等をご提供します。その他お問い合わせは弊社サービス（P.27）までお願いいたします。

CONTENTS

安全上のご注意 ······ 4

ご使用の前に ······ 6

使用上のご注意 ······ 7

製品の特徴 ······ 9

製品の構成 ······ 10

各部名称 ······ 11

セットアップと設置 ······ 12

動作説明 ······ 16

micro SDカードの管理 ······ 18

映像の再生 ······ 19

micro SDカードのフォーマット ······ 20

本体のアップグレード ······ 21

その他のサポート 情報 ······ 22

製品仕様 ······ 23

保証書 ······ 26

安全上のご注意

●安全に正しくご使用いただくため、ご使用の前によくお読みください。
●お読みになった後はいつでも確認できる場所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告	⚠ 注 意
この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取付作業をはじめる前に

⚠ 警 告

●配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

結線のご注意

⚠ 警 告

●コード類は、取付説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
●接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
●エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。

⚠ 注 意

●正規の接続をする…
誤った接続をすると、火災や事故・故障の原因となることがあります。また、シガーケーブルの改造をしないでください。
●コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
●車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意

異常時の処置について

⚠ 警 告

●故障のまま使用はしない…
故障した状態ではご使用にならず、必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

●異常のまま使用はしない…
万一煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

●ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…
ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズをご使用されると火災の原因となります。

取付場所について

⚠ 警 告

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

●本製品を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取り付けると運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

●雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…
本製品に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。

●振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…
はずれて、けがや事故の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本製品の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…
本製品内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注 意

●LED式の信号機、テールランプ、ストップランプ、蛍光灯などは、LED制御の性質上明かりが点滅または消灯した状態で録画される場合があります。

●他の無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。

●本製品のケースを取り外さないでください。ケースを外すと内部の部品が破損することがあり、保証の対象外となります。

●ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。また、録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご活用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。

●映像の未録画、録画されたデータの破損等によるあらゆる損害について、弊社は一切の責任を負いません。

●本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用ください。本製品は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。

●本製品は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。

ご使用の前に

保証範囲

- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責を負いません。
- 本製品は車の衝撃または事故映像を保存することを目的とする装置ですが、車の状態や車両事故等で製品が破損したり、micro SDカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責を負いません。
- 電源を取る場合、車両によってはキーOffでも給電される場合があります。バッテリーが上がり、車両火災に繋がる恐れがありますので、充分ご注意ください。万一、そのような事象が発生した場合でも弊社はその責を負いません。
- 車両運行前に本製品の取付、動作状態をご確認ください。

⚠ micro SDカード使用時の注意事項

※ 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。

※ 安定してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicro SDカードをフォーマットしていただくことをお勧めします。(PC上でのフォーマットを推奨)

※ micro SDカードは分解、改造その他加工はしないでください。

※ 本体よりmicro SDカードを取り出す場合は、製品の電源を一旦切り後方LEDが消灯してから取り出してください。

※ 大切なデータは、PCや他の保存装置にバックアップしてください。

※ micro SDカードは消耗性部品です。定期的に記録映像を確認し、6ヶ月を目安に交換されることをお勧めします。

使用上のご注意

製品を誤って扱った場合、重傷や死亡に至る危険な状況に繋がるおそれがありますので、お取り扱いには充分ご注意ください。

ドライブレコーダーを分解、改造しないでください

- 感電、車両破損及びデータ損失の原因となります。
- 製品の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは弊社サービスへお申し付けください。

運転中にドライブレコーダーの操作を行わないでください

- 操作が必要な場合は、安全なところに駐車した上で行ってください。

micro SDカードを取り外すときは、必ず本体の電源をOffにしてください

- 製品動作中にmicro SDカードを取り出すと、誤動作やmicro SDカード内のデータが破損する恐れがあります。

車両の前面ガラスにフィルム等が貼られている場合、録画画質が低下します

ドライブレコーダーを高温及び低温に長時間放置しないでください

- 一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
- 車室内、本体が常温になってから起動してください。
- 結露のない状態でご使用ください。

ドライブレコーダーのレンズは常に清潔な状態でお使いください

- レンズが汚れますと画質が低下します。

ドライブレコーダーを長時間使用する場合、通風を良くしてください

- 本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。

使用上のご注意

ドライブレコーダーは正しい入力電圧でご使用ください。

・爆発や火災の危険があり、その場合には大きな被害が発生する可能性があります。

本体の清掃、お手入れの際には、水、ワックスその他洗剤を本体にかけないでください。

・故障や感電を引き起こす可能性があります。

ケーブルは動かないよう固定し、コネクターにしっかり挿入してください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。

・接点が不安定な場合、火災の原因になることがあり、録画が正しく行われない場合があります。

製品の特徴

コンパクト サイズ

　超小型サイズで、視野を妨げません。取り付けも容易です。

低消費電力設計

　消費電力を抑え、エンジン停止時も車両バッテリーへの負荷は最小です。

スタイリッシュデザイン

　おしゃれなリップスティックケース型デザイン。

高解像度カメラ

　200万画素イメージセンサーを搭載し、映像を鮮明に捉えます。

多様な録画モード

　常時録画 / 衝突検知録画 / 手動録画をサポートし、あらゆる瞬間も逃さず記録します。

音声案内機能

　ボタンひとつの簡単操作で、動作状態を音声で知らせます。

micro SDカードフォーマット 機能

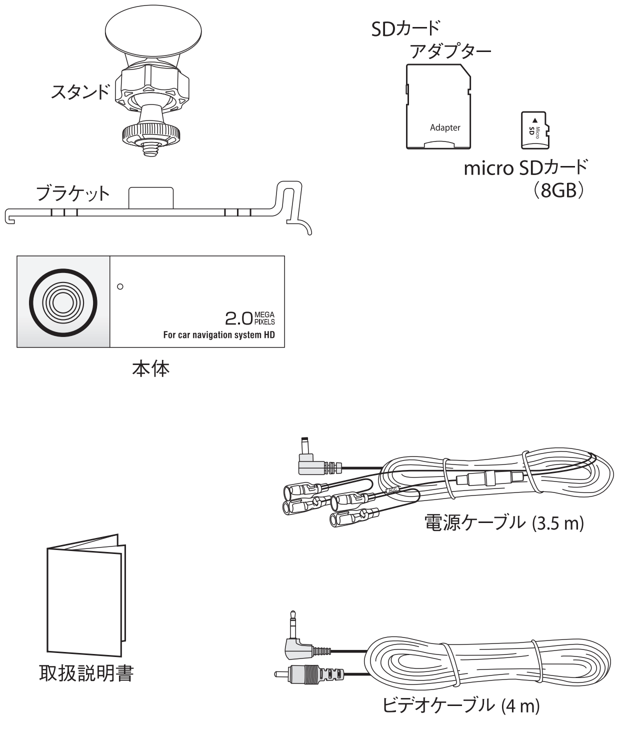
　本体でmicro SDカードのフォーマットをサポート。

Gセンサー搭載

　走行、停止にかかわらず、内蔵Gセンサーが衝撃を検知して映像を記録します。
（録画中に衝撃が加わると、イベントファイルが保存されます。）

製品の構成（同梱品一覧）

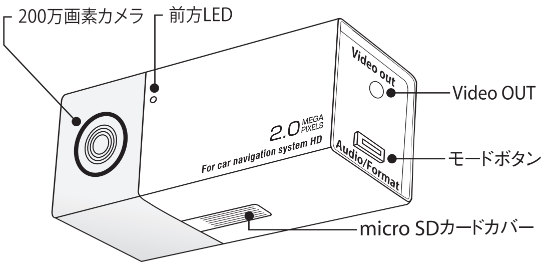
製品購入後、同梱品をご確認ください。



※構成は予告なく変更されることがあります。

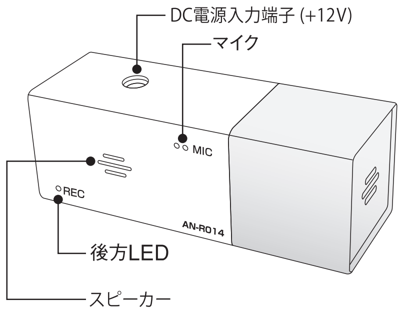
各部名称

■ 前面図



200万画素カメラ
前方LED
Video out
2.0 MEGA PIXELS
For car navigation system HD
Audio/Format
Video OUT
モードボタン
micro SDカードカバー

■ 背面図



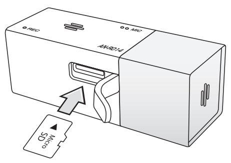
DC電源入力端子 (+12V)
マイク
MIC
REC
AN-R014
後方LED
スピーカー

セットアップと設置

1. micro SDカード の挿入

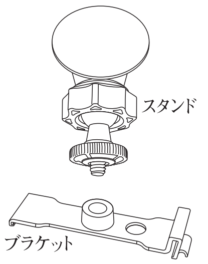
本体のmicro SDカードカバーを開け、micro SDカードを図の方向に挿入します。

＊ micro SDカードの挿入方向を誤ると故障の原因となることがあります。
ご注意ください。



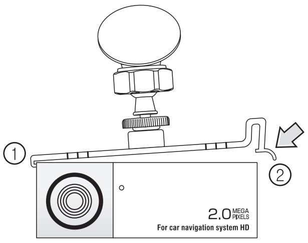
2.スタンドの取付

スタンドをブラケットにネジ込みます。



3.ブラケットの取付

ブラケットの片方（①）を本体に固定し、反対側の握り手（②）を開いて同じく本体に取り付けます。



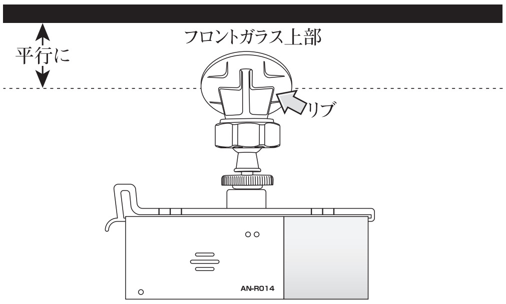
4.車両への取付

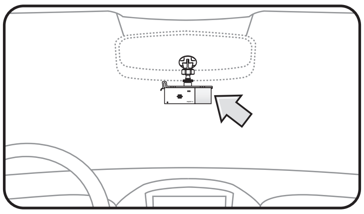
本体の取付位置を決めたら、スタンドの剥離紙を剥がし、スタンドのリブがフロントガラス上部と平行になる様に取り付けします。

ご 注 意!!

添付の両面テープは再接着不可です。スタンドを仮止めし、映像を記録、再生して取付位置をよく確認してください。

ガラスの上部20%の範囲内で視界の妨げにならない位置に取り付けてください。

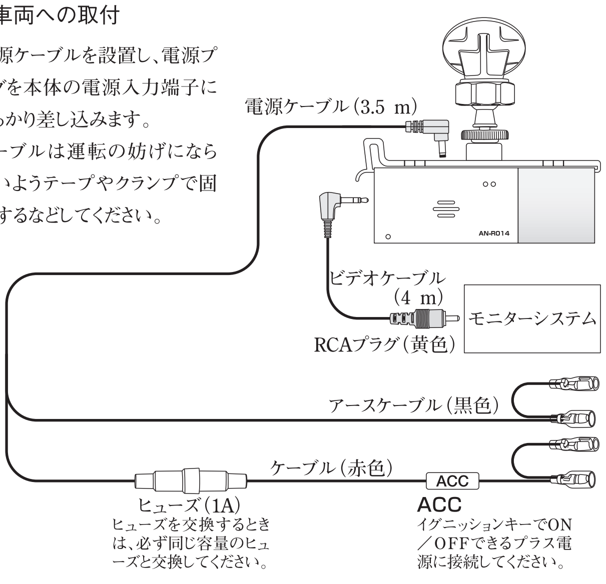




セットアップと設置

5.車両への取付

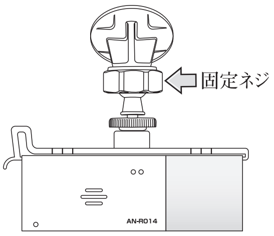
電源ケーブルを設置し、電源プラグを本体の電源入力端子にしっかり差し込みます。
ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。



6.調整

ブラケットの固定ネジを緩め、本体の角度を調整します。レンズ面が路面に対して垂直になる様、調整してください。角度が決まりましたら、動かないよう再びネジを固定します。

※ 角度を調整した後に再度録画映像をご確認ください。



メモ

動作説明

本製品はお車のエンジンをかけて電源がONの状態になると自動的に常時録画を開始します。

※録画を開始するにあたり、日付などの設定操作は必要ありません。（録画時の表示時間は、内蔵時計の時間を参照しています。）

※手動録画、音声録音の中止設定およびmicro　SDカードフォーマットの際は、本体側面のモードボタンを押して操作してください。

録画動作

○ 点灯　◌ 点滅　☼ 早い点滅

動作	LED		説　明
	前方	後方	
常時録画	◌	○（緑）	“常時録画を開始します” ファイル名の先頭に「RECD」が追記され映像が保存されます。 ＊音声録音がされていない状態では後方LEDが点滅します。
衝突検知 録　画	◌	○（赤） 7秒点灯後 ↓ ○（緑）	常時録画中、Gセンサーで衝撃が検知されると ファイル名の先頭に「EVNT」が追記されイベントファイルが保存されます。 保存されるファイルは衝撃を検知した際の録画ファイルとその前後のファイルを保存します。（合計3ファイル　90秒） ※音声録音がされていない状態では後方LEDが点滅します。
手動録画 （短押し1回）	◌	○（赤） 7秒点灯後 ↓ ○（緑）	“手動録画を開始します” ファイル名の先頭に「MANU」が追記され手動録画ファイルが保存されます。（1ファイル　30秒 ） 手動録画は 30秒 で自動的に終了し、常時録画に戻ります。 ※音声録音がされていない状態では後方LEDが点滅します。

※録画ファイル構成についてはP.19をご覧ください。

動作説明

基本動作

○ 点灯　◌ 点滅　☼ 早い点滅

動作	LED		説明
	前方	後方	
電源接続	◌	○（緑）	“micro SDカードが挿入されました” 起動中にmicro SDカードを認識します。
micro SD カード なし	−	☼（赤）	“micro SDカードがありません。micro SDカードを挿入してください” micro SDカードのエラー、または未挿入です。
micro SD カード 異常取り出し	−	☼（赤）	“micro SDカードが取り外されました” 録画中にmicro SDカードが外され、エラー状態です。
エラー発生	−	○（赤）または ☼（赤）または 消灯	“ファイルの異常が見つかりました” micro　SDカードまたは本体エラーによる動作異常です。一旦電源を切り、PCでmicro　SDカードをフォーマット後、録画が正常に行われるか確認してください。正常動作しない場合は、弊社サービスまでご連絡ください。

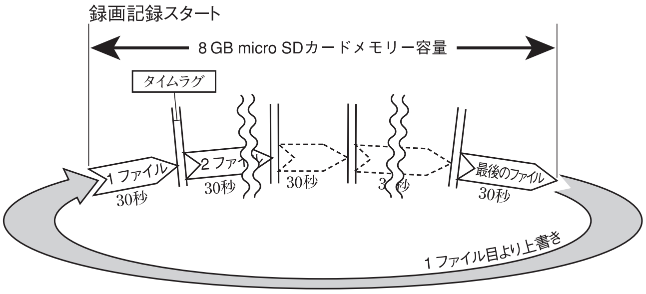
アップグレード、その他の動作

	動作	LED		説明
		前方	後方	
アップ グレード（UG）	SD内にUG ファイルあり	○	○（赤）	“アップグレードを開始します。終了するまで電源を切らないでください”
	UG　終了			“アップグレードが終了しました” ※後方LEDの消灯後、電源を入れ直してください。
その他の 動作	音声録音中止（短押し2回）	◌	◌（緑）	“音声録音を終了します”
	音声録音開始（短押し2回）	◌	○（緑）	“音声録音を開始します”
	SDフォーマット（長押し2~3秒）	○	○（赤）	”フォーマットが終了するまで電源を切らないでください” フォーマット終了後、 ”フォーマットが終了しました”

micro SDカードの管理

ファイル構成

● micro SDカードには、30秒毎に録画ファイルが作成されます。
micro SDカードのメモリー容量がいっぱいになった場合には、古いファイルから順次上書きされます。



※ 録画時間が30秒に満たない状態で電源を切った場合には、その時点で新しいファイルが作成されます。

※ 常時録画中に手動録画及び衝突検知録画があった場合にはファイル名が変更されます。衝突検知録画ファイルと手動録画ファイルはファイル名が変更され、保護（プロテクト）がかかります。上書き、更新はされません。

micro SDカード容量別録画時間

容量	SD 8GB	SD 16GB	SD 32GB
録画時間	45分	90分	180分

・常時録画での標準的な録画時間です。録画モードによっては短くなります。
・録画時間は映像の状態、録画環境によって変動します。

micro SDカードの管理

録画ファイル構成

DCIM（録画ファイル 保存フォルダー）

100DSCIM（録画ファイルサブフォルダー）

常時録画映像 ――― RECD0001.AVI
RECD0002.AVI
・
・
RECD9999.AVI

衝撃検知録画映像 ――― EVNT0003.AVI
EVNT0004.AVI
・
・
EVNT9999.AVI

手動録画映像 ――― MANU0005.AVI
MANU0006.AVI
・
・
MANU9999.AVI

映像の再生

PC再生

1. 本体の電源をOFFにした後、LEDが消えたら（約5秒）micro SDカードを取り出します。
2. SDカードアダプターにmicro SDカードを挿入し、リーダーライターをPCに接続します。
3. Motion JPEGに対応した動画再生アプリケーションを起動します。
4. ファイルメニュー、ドラッグ&ドロップなどでファイルを開きます。

micro SDカード のフォーマット

micro SDカードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。安定してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicro SDカードをフォーマットしていただくことをお勧めします。（PC上でのフォーマットを推奨）

本体でのフォーマット

本体の電源がONの状態で、モードボタンを2～3秒間押し続けると“ファイルを全て削除します。よろしければそのまま押し続けてください”という音声案内が流れてフォーマットが始まります。

PCでのフォーマット (Windowsの場合)

1. 同梱のSDカードアダプターを用い、micro SDカードをリーダーライターに挿入しPCに接続します。
2. エクスプローラーで挿入したmicro SDカードのアイコンを右クリックし、メニューより“フォーマット…”を選択してフォーマットを開始します。

step1

step2

step3

※ フォーマット時には全てのデータが削除されます。大切なファイルは必ずPCなどに保存してください。

本体のアップグレード

ファームウェアの更新時には、弊社ホームページ上でお知らせいたします。

アップグレードする

1. ホームページ（http://www.keiyoeng.co.jp/download/）から最新ファームウェアをPC側にダウンロードします。
2. ダウンロードしたアップグレードファイルを解凍します。
3. 本体の電源をOFFにして、micro SDカードを取り外し、リーダーライターに挿入しPCに接続します。
4. 解凍したファイルをmicro SDカードの最上階層にコピーします。
5. micro SDカードを本体に挿入し、電源をONにします。
6. "アップグレードを開始します。終了するまで電源を切らないでください"の音声案内が流れアップグレードが始まります。
7. "アップグレードが終了しました"の音声案内が流れると、本体は一旦自動終了し、前方、後方LEDが消灯します。
8. 電源を入れ直してご使用ください。

※詳しくは、弊社ホームページのアップグレード方法をご参照ください。

その他のサポート情報

内蔵時計について

本製品は時計を内蔵しております。映像ファイルを作成する際にはこの時計の時間を参照していますが、何らかの要因で時間が大きくずれてしまった場合は、弊社ホームページをご参照の上、時間を設定し直してください。

お問い合わせは. . .

弊社ホームページ

http://www.keiyoeng.co.jp/

製品仕様

カメラ	センサー	CMOS 200万画素
	レンズ画角	102°（水平）70°（垂直）110°（対角）
録画	解像度	HD 1280x720 (24fps)
	録画モード	常時録画 / 衝突検知録画 / 手動録画
micro SD カード容量	基本	8GB (Class 4以上を推奨)
	最大	~ 32GB
電源	DC 12V（約130 mA）	
サイズ	79mm(W)x28.8mm(H)x28.8mm(D)	
重量	65g	
構成品	本体、ブラケット（両面テープ付き）、取扱説明書（含 保証書）micro SDカード（8GB）、SDカードアダプター、電源ケーブル（ギボシ、3.5m）、ビデオケーブル（4m）	
その他	音声案内/前方LED/後方LED micro SDフォーマット機能 Video OUT機能	

※仕様は予告なく変更されることがあります。

メモ

メモ

KEIYO

株式会社 慶洋エンジニアリング
www.keiyoeng.co.jp